



りんごの里 福寿園 通所リハだよい

リハビリ通信

今回は、実際に当通所リハビリテーションを利用されていたAさんについてお話いたします。

Aさんは、生活の移動場面は主に車椅子を使用しておりました。立位は介助バーなどの支えを必要とし、短い時間であれば可能でした。

当通所リハビリテーションを週2回で利用され、リハビリを約5ヵ月間行った結果、杖歩行や見守りを必要としますが独歩で移動出来るレベルまで回復されました。

現在は通所リハビリテーションを卒業され、自宅で家事を積極的に行ったり、ご家族様の協力のもとで外出されたりと活動的に過ごされている様です。

リハビリの効果は人それぞれ異なりますが、適切な運動を継続して行う事が身体機能の回復につながってきます。



『3月』に関するお話

今回は阿部富子が3月の豆知識を紹介いたします。なぜ、3月を弥生と呼ばれるのかお話しします。弥生の語源は「弥生（いやおい）」が変化したもので「弥（いや）」は「いよいよ」「ますます」の意味で「生（おい）」は「生い茂る」に使われるように、草木が芽吹くことを意味しており草木がだんだん芽吹く月であることから弥生となったそうです。更に、春のお彼岸は春分の日を中日にし、前後3日間ありますが先祖の霊を敬う仏事は日本独自のもので、他の仏教国には無いそうです。陽が真西に沈むこの日（中日）に極楽浄土への道が開けるといふ信仰は、江戸時代に高まり根強く伝承されて来たそうです！

いざ、鬼退治！！

2月3日(火)、午後の集団活動にて歌カルタをワイワイ楽しんでいると・・・

職員が扮した悪名高き鬼達が出現！！その鬼達の名前は「風邪ひ鬼(かぜひき)」や「大ゆ鬼(おおゆき)」、「短鬼(たんき)」、「嘘つ鬼(うそつき)」、「弱鬼(よわき)」、「いび鬼(いびき)」

次々と悪さを行う鬼達に、さっきまで にこやかにゲームを楽しんでいた利用者の方々には、持っていた豆をカ一杯「鬼は外～、福は内～」と声を出し鬼退治・・・やっかいな鬼たちを退治することができました！！

無病息災を祈願する豆まき。利用者の皆さん、今年も安心して楽しくお過ごしいただけますように・・・！それと、“福”が舞い込みますように♪♪



3月の予定

- りんご劇団による演劇 3月29日(日)
(りんごの里 行事委員会)
- 通所劇団による演劇 3月31日(火)
(通所リハ 職員)

※演劇内容は異なります

介護老人保健施設 りんごの里 福寿園
通所リハビリテーション

〒0109-0701

秋田県横手市増田町吉野字梨木塚 100-1 番地

Tel0182-45-3131 Fax0182-45-3300

HPアドレス <http://yokote-fukuzuyukai.jp/>

担当：小原・佐々木